

岡ふるさと公園(笛吹市)の古墳

盃塚古墳(笛吹市)
さかづきつかこふん

ここは笛吹市八代町岡にある、ふるさと公園



盃塚古墳(円墳)と銚子塚古墳(前方後円墳)が所在する



前方が盃塚古墳/手前に甲州蚕影桜(こうしゅうこかげさくら)の標柱と蚕影山と記された石碑が立っている



正面が蚕影山(こかげさん)と記された石碑



アップで見る/祀られる蚕影山は養蚕の神様らしい/春には桜の見所となるという



町指定

史跡 盃塚古墳

昭和五五年三月三十一日指定

この古墳は、岡・銚子塚古墳の北東約五〇メートルの位置にあり、八代町内でも有数の規模を誇る。墳丘が著しく変形しており原形が定かでなかったが、平成四年度の発掘調査により直径二三メートルの円墳で、周囲に幅一・八メートルの壕があることを確認した。遺体を納めた主体部は、墳丘が著しく変形していたため確認できなかったが、墳頂部のトレンチより円礫が多く発見されていることから、竪穴式石室であると推定される。副葬品は、発掘調査等によって発見した鉄刀や鉄鏃・鈍（やりがんな）があり町教育委員会で保管している。

この古墳は、五世紀頃に造られた、八代町周辺の支配者層の墓と推定される。

規模 直径二三メートル

高さ四・五メートル

平成六年十月

八代町教育委員会

西側から見た盃塚古墳/円墳/5世紀築造



南東側から見たところ/濠が巡っていた/主体部は竪穴式石室



東側から見たところ



北東側から見たところ/前方に銚子塚古墳が見える



この地には古くから集落が開けていたらしい



八代町岡の地域には縄文時代の遺跡や多数の古墳があり、曾根丘陵上には長者屋敷の伝説や妙善屋敷、於屋敷などの字名があり、古くから集落が開けていたと考えられ、岡の地名はこれに由来すると云われる。

ここ銚子ヶ原は素晴らしい眺望の景勝地で、頂部には全長九二mの前方後円墳の「銚子塚古墳」、直径二二mの「盃塚古墳」がある。また、近くには蚕影山がまつられている。

明治二十六年に蚕影山祭典の行事として競馬が始められ、近在から多数の馬が集まり盛大を極めた。戦後馬の減少により競馬はなくなったが、今は地域の人々の努力により桜の名所となり、花の時期にはたいへんな賑わいを見せている。

朝日長者 夕日長者

昔、四ツ沢の上流に二人の長者が住んでいたと伝えられる。

左岸の五本松から二五〇mほど登った小尾根上に一反歩すつ二段になっているところが朝日長者の屋敷跡と云われる。

右岸の山の中腹にある擂鉢型をした地が夕日長者の屋敷跡と云われ、「こゝは「おたにの原」と呼ばれ昔は石垣もあったと伝えられている。

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huehuki_sakazuki/

<http://www.ipn-hayashi.com/cgi-bin/pjdetail.cgi?title0=%94u%92%CB%8C%C3%95%AD&choice0=k2101110&printer=%83u%83b%83N&phoview=51>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/yfuefuki.htm>

<http://www.fuwaiin.com/kofun/kofun-soremici/yamanasi-oka-cyousizuka-kofun.html>

